

Oils and Fats Processing



Confectionery and  
Baking Ingredients



Soy Protein



# FUJI OIL GROUP 2006

第78期 中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

 不二製油株式会社

# オリジナリティを基本とした食品を創造し、 世界をフィールドに広く展開する 開発型グローバル企業を目指しています。

株主の皆様には日頃より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。  
当社の第78期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の事業概況をご報告させていただくにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

当中間期の当社連結業績につきましては、後掲の「営業の概況」に記載のとおりであります。企業間競争の激化や海外製品の流入など市場環境は厳しさを増しております。

こうした中、当社グループは中期経営計画「創造と改革2007」（略称INNOVATE07）（平成17年4月から平成20年3月まで）をスタートさせております。「創造と改革による企業価値の向上」をメインテーマに、「三新開発（新製品・新生産技術・新市場）」や「徹底したコストダウン」「提案営業の推進」等の事業戦略により、企業競争力の再構築と新規事業・新規設備投資の収益化を早急な課題と位置付け、積極的に取り組んでおります。

さらにグループの全製品をより積極的に世界市場に展開すべく、開発業務を核とした「開発型グローバル企業」を目指すとともに、全てのステークホルダーから信頼される企業を目指し、社会的価値の向上とブランドの育成による「新しい価値創造」に取り組んでおります。

今後も、当社グループは植物性の油脂と大豆たん白を基礎原料とした食品を創造し、スペシャリティ・ニッチ・NO.1を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

代表取締役 社長  
浅原 和人

## 営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の緩やかな増加により、景気は回復基調となりました。米国、アジア経済も景気の拡大が続きました。

当社を取り巻く食品業界におきましては、食の安全の問題は依然払拭されておらず、デフレ経済等の影響から力強さに欠ける状況で推移しました。

このような企業環境下、当社グループは「三新開発（新製品・新生産技術・新市場）」「徹底したコストダウン」「提案営業の推進」等による売上・収益の拡大に積極的に取り組んでまいりましたが、乳製品相場の高止まりに加え、大豆たん白事業の市況の低迷及び新規投資事業の収益改善の遅れなどから、厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、当中間期における連結業績は、売上高は前年同期比0.1%減少し827億61百万円となりました。営業利益は前年同期比20.5%減少し39億99百万円となり、経常利益も前年同期比22.9%減少し37億56百万円となりました。中間純利益は前年同期比42.8%減少し17億88百万円となり、前年同期比で減収減益となりました。

### 当中間期の事業別概況

#### （油脂事業）

国内では、フライ用油脂は販売数量が減少しましたが、チョコレート用油脂は好調に推移いたしました。生産性の改善や原料価格の安定が寄与し、利益面では前年同期を上回りました。

海外グループ会社各社は、チョコレート用油脂を代表とするスペシャリティ製品は好調に推移し、特に欧州のグループ会社は大きく伸ばいたしました。しかし、米国のグループ会社は新工場立上げに伴う費用増加と生産性改善の遅れから厳しい状況で推移いたしました。中国のグループ会社もコストダウンを推進しているものの厳しい価格競争により苦戦いたしました。以上の結果、当事業の売上高は281億12百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は14億21百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

#### （製菓・製パン素材事業）

国内では、各種素材チョコレートは前期から引き続き新市場開拓、新製品の販売により好調に推移いたしました。クリームは新技術を付加した新製品が好調に推移し、販売数量は前年同期を上回りました。マーガリン・ショートニング類は前年同期並みとなりましたが、素材チーズ・フィリング類は前年同期を下回りました。輸入販売は、市場拡大により数量・売上高は前年同期を上回りましたが、原料の海外乳

製品相場の高止まりにより採算は厳しい状況で推移しました。

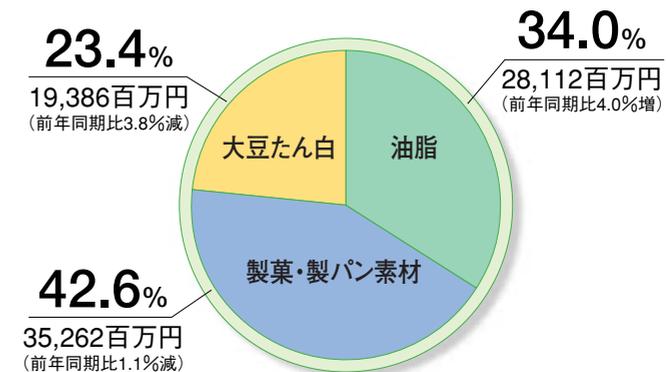
国内のグループ会社では、デザート類が主要因で、売上高、利益ともに減少いたしました。シンガポールのグループ会社は、原料高により利益面では前年同期を下回りました。インドネシアのグループ会社は、新製品開発等により、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。以上の結果、当事業の売上高は352億62百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は21億19百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

#### （大豆たん白事業）

国内では、大豆たん白素材は健康食品市場が好調に推移したことや新市場開拓により、売上高は伸長しました。大豆たん白食品は、市場環境が厳しく、事業の合理化を推進いたしました。売上高は前年同期を下回りました。「大豆ペプチド」は、国内飲料市場への販売の不振等で売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。「水溶性大豆多糖類」は酸性乳飲料用の海外への輸出減で苦戦いたしました。「豆乳」は、市場競争の激化に加え、豆乳ブームの一巡もあり、小売用は停滞いたしました。業務用はデザート市場で好調に推移いたしました。大豆関連商品の通信販売は、タブレットなどが好調で売上高は前年同期を上回りました。

海外では、中国で大豆たん白素材の販売が好調に推移したものの、新工場建設に伴う経費増により、利益面では苦戦いたしました。以上の結果、当事業の売上高は193億86百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は4億58百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

### 事業別業績概況

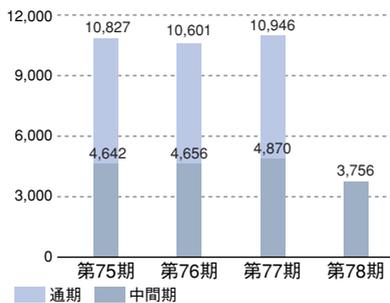


売上高(百万円)



油脂事業は伸長しましたが、製菓・製パン素材事業、大豆たん白事業は減収となりました。

経常利益(百万円)



売上高が伸び悩む中、売上原価、販管費、支払利息の増加により減益となりました。

中間(当期)純利益(百万円)



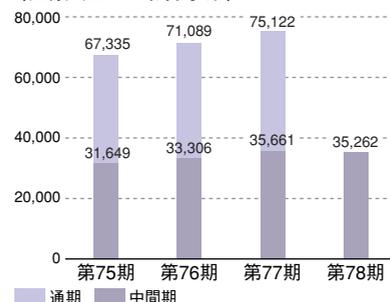
経常利益の減益により、中間純利益も減益となりました。

事業別売上高(百万円)  
(油脂事業)



国内外でチョコレート用油脂が伸長いたしました。

(製菓・製パン素材事業)



素材チョコレートは好調に推移しましたが、国内グループ会社のデザート類が減収となりました。

(大豆たん白事業)



大豆たん白素材は増加しましたが、大豆ペプチド、大豆たん白食品は減収となりました。

1株当たり中間(当期)純利益(円)



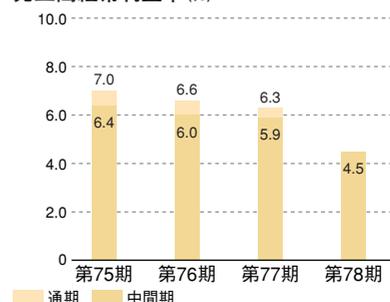
中間純利益の減少により、低下しました。

1株当たり純資産(円)



主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加によるものです。

売上高経常利益率(%)



製菓・製パン素材の原料高、減価償却費等の経費増、支払利息の増加により、低下しました。

# Topics

## 展示会に出展

10月4日～6日に東京都立産業貿易センターで行われた、2005JAPAN CAKE SHOW東京に出展しました。出展ブースを「チョコレート」「クリーム」「ソイ・スイーツ」に分け、展示・試食を行い、来場された多くの方にアピールしました。

10月6日～7日(社)日本外食食品卸協会主催の、外食産業フェア2005に出展しました。「※ローハスに」をテーマに、環境、自然、健康に優しいライフスタイルを意識した製品の展示・試食を行い、ソヤファームブランドの製品を認知いただきました。



2005JAPAN CAKE SHOW



外食産業フェア2005

※LOHAS(ローハスまたはロハス): Lifestyles of Health and Sustainabilityの頭文字をとった略語で、健康を重視し、持続可能な社会生活を心掛ける生活スタイルのこと。

## 「千葉工場」地鎮祭

11月1日 千葉市美浜区の「千葉工場」にて地鎮祭を執り行いました。

来年4月にマーガリン工場、10月には油脂精製工場が稼働する予定です。

関東エリアにおける安定した、よりフレッシュな製品の供給が可能となります。



千葉工場 完成予定図

## 「ソイ・スイーツ」のキャンペーン実施

豆乳を使ったデザート「ソイ・スイーツ」と名付け、4月よりキャンペーンを実施しております。当社グループの豆乳は新・クリア製法により、大豆の青臭みを取り除き、飲みやすさ、美味しさといった点で格段にレベルアップしております。豆乳以外の素材の味を生かす「液状豆腐」や少量の使用でも濃厚感が出る「濃厚豆乳」を使用した「ソイ・スイーツ」のソフト提案を講習会や展示会で実施するとともに、雑誌広告に掲載するなどのキャンペーンを展開しております。多くの皆様から「美味しい」という声をいただき、市場の関心度は益々高まっております。



いろいろな「ソイ・スイーツ」



## 「カラーチョコレート工場」12月稼働

カラー系素材チョコレートを生産する大阪府泉南市の「りんくう工場」が本年12月より稼働します。



新用途開発により好調な素材チョコレートの更なる拡販を図ってまいります。

## 連結貸借対照表

科目	当中間期末 (H17.9.30現在)	前中間期末 (H16.9.30現在)	前期末 (H17.3.31現在)
資産の部			
流動資産	59,899	58,368	56,433
現金及び預金	3,615	4,801	4,074
受取手形及び売掛金	29,700	28,373	28,718
有価証券	274	274	274
たな卸資産	22,282	21,338	20,201
その他	4,026	3,580	3,164
固定資産	104,243	94,399	97,844
有形固定資産	90,054	83,416	86,132
建物及び構築物	31,308	29,589	31,220
機械装置及び運搬具	38,368	31,508	36,120
土地	14,704	14,149	14,716
建設仮勘定	4,051	6,678	2,486
その他	1,620	1,490	1,589
無形固定資産	949	848	872
投資その他の資産	13,239	10,134	10,839
投資有価証券	10,558	7,910	8,805
その他	2,680	2,223	2,033
繰延資産	5	16	10
資産合計	164,148	152,784	154,288

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	当中間期末 (H17.9.30現在)	前中間期末 (H16.9.30現在)	前期末 (H17.3.31現在)
負債の部			
流動負債	46,316	49,491	49,441
支払手形及び買掛金	14,485	13,400	12,788
短期借入金	21,914	20,294	21,956
一年内償還予定社債	20	5,000	5,020
未払法人税等	2,011	2,294	1,761
賞与引当金	1,699	1,745	1,437
その他	6,184	6,756	6,477
固定負債	31,254	23,089	21,313
社債	10,170	—	180
長期借入金	15,392	16,949	16,083
退職給付引当金	2,347	5,165	2,569
役員退職慰労引当金	303	248	283
その他	3,039	726	2,196
負債合計	77,570	72,581	70,754
少数株主持分			
少数株主持分	3,723	3,579	3,582
資本の部			
資本金	13,208	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324	18,324
利益剰余金	52,052	47,730	50,970
その他有価証券評価差額金	3,287	1,865	2,377
為替換算調整勘定	△3,973	△4,464	△4,884
自己株式	△44	△41	△44
資本合計	82,854	76,623	79,951
負債・少数株主持分及び資本合計	164,148	152,784	154,288

## 連結損益計算書

科目	当中間期 (H17.4.1~H17.9.30)	前中間期 (H16.4.1~H16.9.30)	前期 (H16.4.1~H17.3.31)
売上高	82,761	82,852	172,978
売上原価	64,505	63,934	133,177
売上総利益	18,256	18,918	39,801
販売費及び一般管理費	14,257	13,890	28,395
営業利益	3,999	5,027	11,405
営業外収益	443	269	459
営業外費用	687	426	917
経常利益	3,756	4,870	10,946
特別利益	—	—	2,329
特別損失	244	145	1,919
税金等調整前中間(当期)純利益	3,511	4,724	11,356
法人税、住民税及び事業税	1,588	1,943	3,095
法人税等調整額	82	△400	1,050
少数株主利益	53	54	187
中間(当期)純利益	1,787	3,127	7,023

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 (H17.4.1~H17.9.30)	前中間期 (H16.4.1~H16.9.30)	前期 (H16.4.1~H17.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,032	1,842	10,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,650	△7,728	△16,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,094	5,396	4,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	14	△31
現金及び現金同等物の減少額	△458	△475	△1,202
現金及び現金同等物の期首残高	4,055	5,258	5,258
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,596	4,782	4,055

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結剰余金計算書

科目	当中間期 (H17.4.1~H17.9.30)	前中間期 (H16.4.1~H16.9.30)	前期 (H16.4.1~H17.3.31)
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	18,324	18,324	18,324
資本剰余金中間期末(期末)残高	18,324	18,324	18,324
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	50,970	45,171	45,171
利益剰余金増加高	1,787	3,127	7,023
中間(当期)純利益	1,787	3,127	7,023
利益剰余金減少高	705	568	1,225
配当金	656	525	1,181
役員賞与	48	43	43
利益剰余金中間期末(期末)残高	52,052	47,730	50,970

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

科目	当中間期末 (H17.9.30現在)	前中間期末 (H16.9.30現在)	前期末 (H17.3.31現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	36,421	35,102	35,235
現金及び預金	705	733	951
受取手形及び売掛金	20,280	19,379	20,078
有価証券	266	266	266
たな卸資産	12,342	11,608	10,729
その他	2,827	3,115	3,209
固定資産	99,061	95,516	94,254
有形固定資産	56,631	55,711	55,035
建物及び構築物	20,630	21,021	20,764
機械及び運搬具	19,635	20,041	19,073
土地	13,522	13,150	13,528
建設仮勘定	1,758	494	602
その他	1,083	1,002	1,066
無形固定資産	475	438	461
投資その他の資産	41,954	39,365	38,758
投資有価証券	10,106	7,557	8,362
その他	31,848	31,808	30,395
資産合計	135,482	130,618	129,490

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

科目	当中間期 (H17.4.1~H17.9.30)	前中間期 (H16.4.1~H16.9.30)	前期 (H16.4.1~H17.3.31)
<b>経常損益の部</b>			
営業収益	51,182	51,820	108,190
営業費用	47,718	48,026	99,147
営業利益	3,464	3,794	9,042
営業外収益	829	916	1,403
営業外費用	512	405	835
経常利益	3,781	4,304	9,610
<b>特別損益の部</b>			
特別利益	—	—	2,316
特別損失	241	487	2,589
税引前中間(当期)純利益	3,539	3,817	9,337
法人税、住民税及び事業税	1,351	1,469	2,617
法人税等調整額	△24	△200	764
中間(当期)純利益	2,212	2,548	5,956
前期繰越利益	11,206	6,611	6,611
中間配当額	—	—	656
中間(当期)未処分利益	13,419	9,160	11,911

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	当中間期末 (H17.9.30現在)	前中間期末 (H16.9.30現在)	前期末 (H17.3.31現在)
<b>負債の部</b>			
流動負債	25,230	32,287	30,966
支払手形及び買掛金	10,424	9,956	10,206
短期借入金	6,510	8,310	8,110
一年内償還予定社債	—	5,000	5,000
未払法人税等	1,589	1,653	1,392
賞与引当金	1,420	1,453	1,152
その他	5,285	5,913	5,105
固定負債	25,580	19,309	16,256
社債	10,000	—	—
長期借入金	13,500	14,500	14,000
退職給付引当金	1,759	4,543	1,955
役員退職慰労引当金	303	248	283
その他	16	17	17
負債合計	50,810	51,596	47,223
<b>資本の部</b>			
資本金	13,208	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324	18,324
利益剰余金	49,946	45,687	48,438
利益準備金	2,017	2,017	2,017
任意積立金	34,508	34,508	34,508
中間(当期)未処分利益	13,419	9,160	11,911
株式等評価差額金	3,237	1,843	2,340
自己株式	△44	△41	△44
資本合計	84,672	79,021	82,267
負債及び資本合計	135,482	130,618	129,490

株式の状況

(平成17年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	357,324,000株
発行済株式の総数	87,569,383株
株主数	21,471名
1人当たりの平均所有株数	4,078株

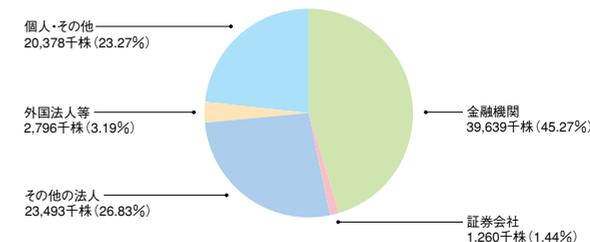
大株主

(平成17年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
伊藤忠商事株式会社	15,178	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,135	8.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,014	8.0
日本生命保険相互会社	2,845	3.2
東京海上日動火災保険株式会社	2,828	3.2
日本生命保険相互会社(特別勘定年金口)	2,231	2.5
株式会社三井住友銀行	1,875	2.1

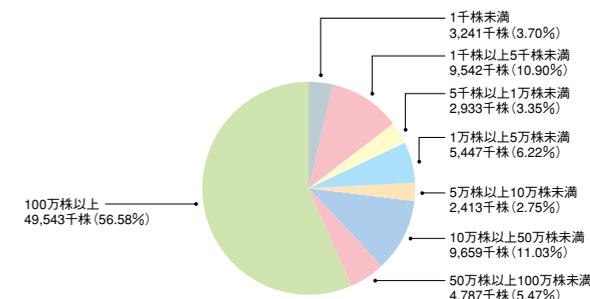
所有者別分布状況

(平成17年9月30日現在)

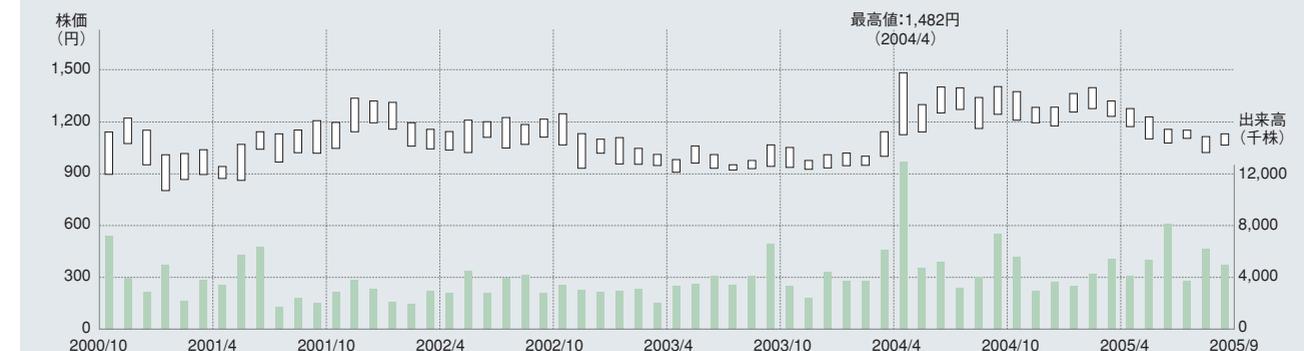


所有株数別分布状況

(平成17年9月30日現在)



株価の推移



## 会社概要

(平成17年9月30日現在)

創 立	1950年(昭和25年)10月
資 本 金	13,208百万円
代 表 者 名	代表取締役社長 浅原 和人
連 結 売 上 高	82,761百万円
連 結 経 常 利 益	3,756百万円
連 結 総 資 産	164,148百万円
単 体 売 上 高	51,182百万円
単 体 経 常 利 益	3,781百万円
単 体 総 資 産	135,482百万円
全グループ従業員数	2,974名
不二製油従業員数	1,052名

## 役員

(平成17年9月30日現在)

代表取締役社長	浅原 和人	常勤監査役	勝間 健彦
専務取締役	二宮 幸博	常勤監査役	山口 正之
専務取締役	菅谷 智明	監査役	青木 芳久
専務取締役	小幡 静雄	監査役	栢沼 康夫
常務取締役	中嶋 義昭		
常務取締役	森 弘之		
常務取締役	海老原 善隆		
常務取締役	片山 務		
常務取締役	河部 博国		
常務取締役	寺嶋 正彦		
取 締 役	岡本 和三		
取 締 役	岩 朝 央		
取 締 役	高木 茂		
取 締 役	寺西 進		
取 締 役	清水 洋史		
取 締 役	渡 邊 康平		

## 株式のご案内

決 算 期	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 ：中間配当金 9月30日
定 時 株 主 総 会	6月下旬
名 義 書 換 代 理 人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈 郵 送 物 送 付 先 〉	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈 電 話 照 会 先 〉	[住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417 [そ の 他 の ご 照 会] ☎ 0120-176-417
〈インターネットホームページ〉	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
1 単 元 の 株 式 数	100株
公 告 の 方 法	日本経済新聞に掲載する。ただし、商法特例法第16条第5項に定める貸借対照表及び損益計算書に係わる情報は、(http://www.fujioil.co.jp) において提供する。
上 場 証 券 取 引 所	東京・大阪

## 不二製油ホームページ

インターネットで不二製油グループの概況や事業活動をご紹介します。ぜひご覧ください。



<http://www.fujioil.co.jp>

## ▶ アンケート結果のご報告

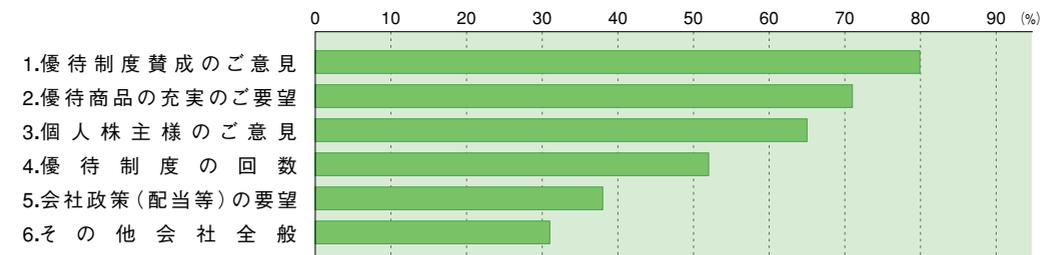
当社では、株主の皆様とよりよいコミュニケーションを図るため、第77期事業報告書にアンケートはがきを同封させていただき、本年より開始致しました株主優待を中心としてアンケートのご協力をお願いしました。

お陰様で株主の皆様(1,967通、14.3%)からご回答を頂戴し、深く感謝申し上げます。頂戴しました株主様の貴重なご意見は当社のIR活動、日常業務、経営にいかしていきたいと考えております。今回のアンケート結果の一部をご紹介します。

### 1 株主の皆様からの主なご意見 (一部を代表としてご紹介します)

- 多くの株主の皆様から、株主優待制度に大賛成のご意見を賜りました。
- 優待商品は大多数の株主の皆様のご満足を得ましたが、一部の商品にはご不満の声もありました。
- 多くの個人株主の皆様から、株主優待制度は長期株保有の支えのご意見を賜りました。
- 株主優待制度だけではなく配当政策、IR方針なども重視して取り組んでほしいのご意見を賜りました。

### 2 株主の皆様からのご意見の分布図 (複数回答反映)



### 3 当社の今後の取り組み

株主様からの種々のご意見に対しまして、当社は以下の点を重要項目として取り組みます。

- 株主優待制度の継続について** ▶ 当社は、株主優待制度を今後も継続してまいります。
- 株主優待制度の対象商品について** ▶ 当社は、株主様及びお客様に美味しいご満足いただける商品を提供してまいります。

#### (2006年の株主優待について)

2006年3月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象に、当社グループ関連製品を2006年6月上旬頃にお送りする予定です。



**FUJI OIL CO., LTD.**

---

<http://www.fujioil.co.jp>

**R100**

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています



本紙は再生紙（古紙パルプ100%）、大豆油インキを使用しています。